

1. 活動日時

2024年2月2日(金)0時～24時

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 37人(一時避難者あり) 22世帯

3. 石川県の被害状況(2月2日14:00現在 石川県 被害等の状況について)

人的被害 死者:240人 負傷者:1,421人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊:49,429棟

4. 天候

曇り 最高気温 4℃ 最低気温 -3℃

5. 活動の実際

7:00 起床 ホットタオル配布・健康観察

8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00 朝食

9:30 2次避難に向けた準備

10:30 2次避難移乗介助、荷物搬送

11:00 段ボールベッド解体、避難所レイアウト変更

12:00 昼食

13:30 避難所レイアウト変更、床掃除

17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00 夕食(配膳、下膳)

19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting(本部長含む)

20:00 健康観察、記録

21:00 消灯、適宜対応

6. 考察

本日10時30分にハイエース2台に分かれて15名の方が2次避難に向けて出発した。2次避難された方からは、「早く水道が出るところに行きたいね。暖かくなって水道と電気が通ったら戻ってきたい。」と笑顔で話された方もいれば、「いつ帰って来られるかわからないよね。」と言い、暗い表情でつぶやいた方もいる。避難所リーダーは、大谷地区のライフラインの復旧は珠洲市の中でも最後のほうになるだろうと話された。珠洲市の水道の仮復旧は一部地域で4月以降になるとの報道もある。希望すれば2次避難場所から戻ってくることも可能であるが、一時的であっても壊れたままの家を残して離れる思いは計り知れないものである。避難所に残った人も「夜は眠れないよ。先のことを考えてしまって…」と話す方もおり、2次避難を選択した人、残る選択をした人、それぞれの思いに寄り添いながら支援を続けていく必要がある。

避難者数減少に伴い、避難所リーダー、避難所支援者（千葉県）と相談し、体育館のレイアウトを変更した。一人当たりのスペースが広がったため、シングルサイズの方の段ボールベッドを、セミダブルサイズへと変更するとともに、寒さ対策として等間隔に石油ストーブを設置した。簡易テントの設置も提案したが、要望者は1名のみであった。またパーティション（シングルベッドサイズの段ボール）については、ストーブの暖かさが遮断されるとのことで断られる方もおり、希望者のみに設置した。余った段ボールベッドの解体と寝具の整理、床掃除に時間がかかったため、キッズスペースや高齢者サロンスペースは明日設置することとした。体育館内は土足厳禁としているが、「体育館に来てから少し咳が出る。」と話された方がいた。現在、掃き掃除と掃除機による掃除を住民や支援者で行っているが、床はブルーシートが敷かれており、砂埃のためか歩くとザラザラした音がする。避難者が訴える咳との関係性は不明であるが、定期的に床掃除（ウェットタイプ）を行っていく必要がある。



体育館内のレイアウト変更の様子



2次避難に向けて出発の様子